



日本 BS 放送株式会社

2024 年 8 月期決算説明会

2024 年 10 月 24 日

イベント概要

[企業名] 日本 BS 放送株式会社

[企業 ID] 9414

[イベント言語] JPN

[イベント種類] 決算説明会

[イベント名] 2024 年 8 月期決算説明会

[決算期] 2024 年度 通期

[日程] 2024 年 10 月 24 日

[ページ数] 34

[時間] 16:00-17:00
(合計：60 分、登壇：45 分)

[開催場所] インターネット配信

[登壇者] 1 名
代表取締役社長 近藤 和行 (以下、近藤)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



登壇

ヨシダ：皆様、こんにちは。本日は日本 BS 放送株式会社、ウェブ説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

まずはじめに、本日の出席者をご紹介します。代表取締役社長、近藤和行でございます。

近藤：よろしくお願いいたします。

ヨシダ：私は司会のヨシダと申します。最後まで、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の進行ですが、社長の近藤より決算概要等についてご説明させていただき、その後、質疑応答へと進んでまいります。

それでは、これより会社説明へ移らせていただきます。近藤社長、よろしくお願いいたします。

近藤：本日は日本 BS 放送株式会社、24 年 8 月期の決算説明会にご参加いただき、ありがとうございます。代表取締役社長の近藤です。

新型コロナウイルスの発生から、4 年が経ちました。人々の行動様式や経済活動が揺れ動く中で、メディアを取り巻く環境も随分大きく変化していく時代になってきました。そんな中、われわれ BS11 は大きく三つ、テーマを掲げております。

一つ目は、インターネット空間での出所や真偽が分からない情報が飛び交う中、当社は報道番組をはじめとした総合編成を行っているテレビ局として、信頼できるメディアを目指すこと。

二つ目は後にご説明する、当社の重点施策として掲げております Value4 を推進していくこと。

三つ目は昨今、東京証券取引所より要請も出ておりますけれども、資本コスト、株価を意識した経営の実現に向けて、市場との対話を強化していくことです。

この三つをテーマに、われわれ BS11 は放送事業を中心に、さまざまな取り組みを行ってまいります。本日は、どうぞ最後までお付き合いください。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2022年に開局15周年を迎えた、全国無料のBSテレビ局です。

会社概要	
本社	東京都千代田区神田駿河台 二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 齋藤 知久 代表取締役社長 近藤 和行
設立	1999年8月
資本金	41億9千万円（2024年2月29日現在）
従業員数	133名（連結）（2023年8月31日現在）



© Nippon BS Broadcasting Corporation.

4

まずは、会社の基本情報についてご説明いたします。当社は1999年、株式会社ビックカメラによって設立され、東京御茶ノ水に本社をかまえております、全国無料放送のBSテレビ局です。2007年から放送を始めております。2014年に東京証券取引所に上場し、現在は東証のスタンダード市場に所属しております。2年前となる2022年には開局の15周年を迎えることができました。

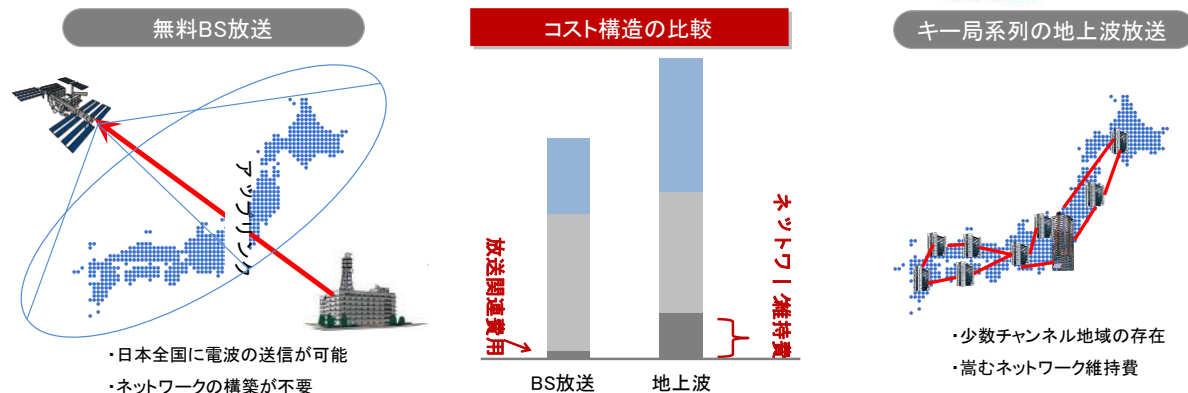
経営理念は、質の高い情報を提供することで人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します、であります。経営ビジョンは豊かで癒される教養、娯楽番組と、中立公正な報道、情報番組を発信し、価値ある時間を約束します、としております。そうした状況の中で、番組の制作や放送を行っている次第でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



BS放送事業について



全国無料BS放送局											
グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ビックカメラ	三井物産	松竹・東急	ジャパネット	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS11	BS12	BS松竹東急	BSJapanext	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					BS11		独立系			公共
開局年月	2000年12月					2007年12月		2022年3月			2011年11月
グループ	“無料BS放送6局”として視聴状況調査を実施（～2020年3月）、 共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた 取り組みを実施。										

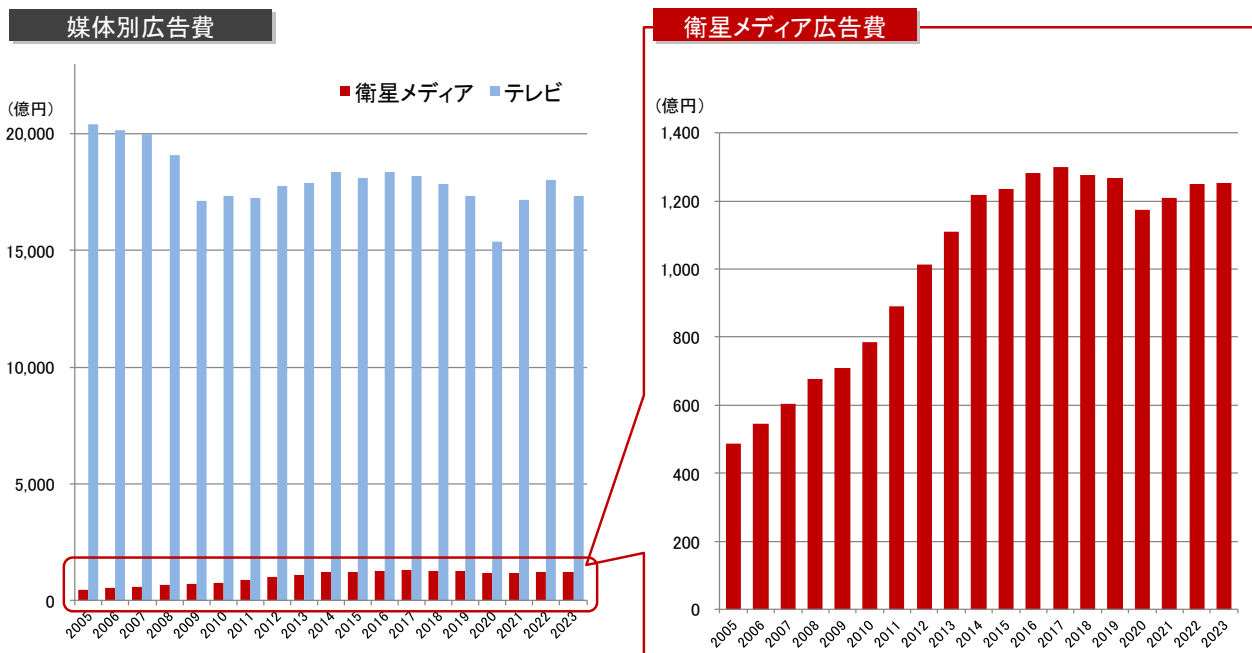
続きまして、BS 放送事業について簡単にご説明いたします。BS はブロードキャスティングサテライトの略で、放送衛星を利用した放送のことをいいます。地上から東経 110 度に打ち上げられた衛星に向けて送付、アップリンクし、衛星から各家庭のパラボラアンテナを経由して、番組を視聴することができます。BS の普及率は 2020 年の調査時点で、全世帯の 7 割超えまで進んでいる状況であります。

衛星を経由して全国一つの波、1 波で番組をお届けできる BS 放送は、電波塔を経由していく必要がある地上波放送と、コスト構造に大きな違いがあります。地上波は電波塔などのネットワーク維持費が大きくかかるんですけれども、BS 放送はより低いコストで効率良く放送することができる構造になります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2020年のコロナ禍を経て2021年以降は回復傾向



(出所) 電通「2023年 日本の広告費」※ 衛星メディアにはBS放送、CS放送、ケーブルテレビが含まれる

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

ご覧いただいている左の青いグラフは、テレビ広告全体の推移を表しております。右側の赤いグラフが私どもBSにCSなどを加えた、衛星メディア全体の広告費の推移となっております。2020年、もう4年前になりますけれども、新型コロナウイルスが発生した際には地上波放送、衛星放送ともに大きく市況が落ち込みましたけれども、2021年以降は徐々に回復傾向をたどっているのが、お分かりになるかと思えます。

全国1波で比較的安く、つまり効率的に番組やCM、コマーシャルをお届けすることができる。そういう衛星メディアのメリット、長所をより理解していただければ、今後も十分BSメディアの市況を拡大していくことができると、われわれは考えております。

続きまして、当社BS11の特徴についてご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



BS11の特長

- ①独立系だからこそ**自由なコンテンツ制作・展開**が可能！
- ②『**ドラマ**』・『**アニメ**』・『**競馬**』など多岐にわたるラインナップ編成により、**幅広い年齢層の視聴者層**が存在！
- ③家電量販店**ビックカメラ**を親会社に持つため、番組・CMの放送等に加えて、**消費者へのダイレクトなコンタクトポイント**が持てる企画が可能！

一つ目は、キー局の系列に属さない、独立系放送局です。だからこそ、自由なコンテンツの制作、展開が可能になっております。

二つ目、これがドラマやアニメ、競馬など多様なラインナップ構成、編成により、幅広い年齢層の視聴者に評価いただいております。

三つ目、家電量販店のビックカメラを親会社としております。したがって番組、CMなどの放送に加えて、消費者へのダイレクトなコンタクトポイントが持てる、いろんな展開が可能だという環境の中にあるテレビ局でございます。

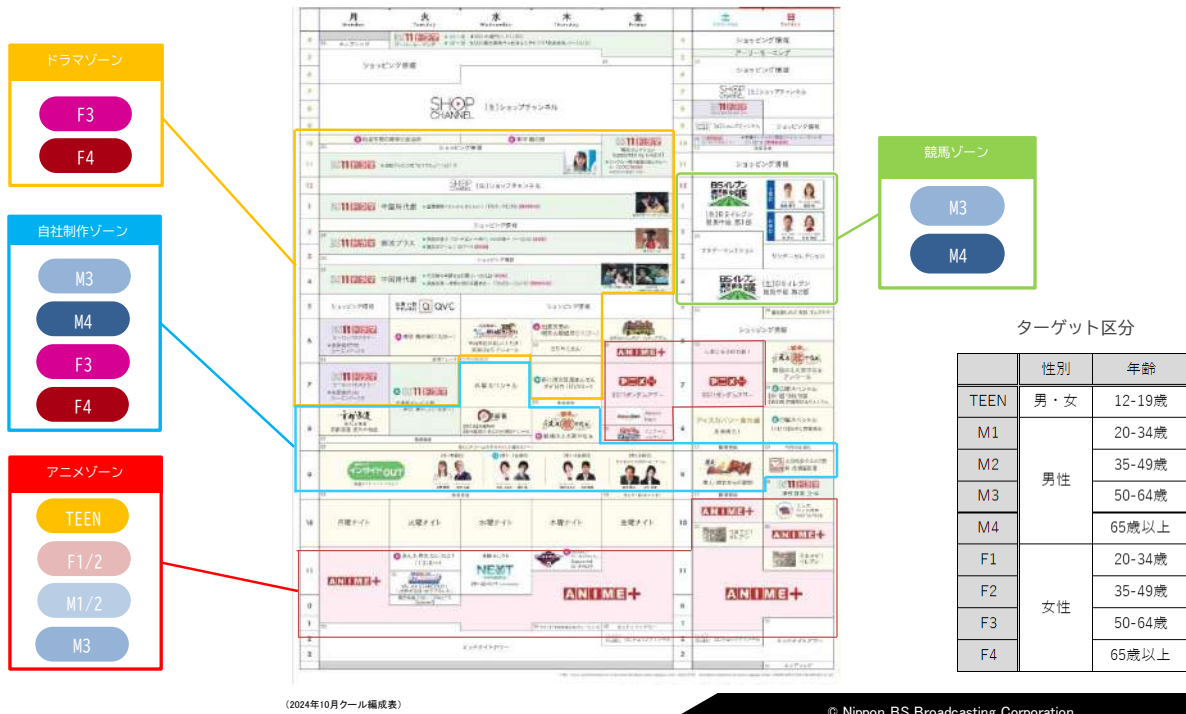
これら主に三つの特徴によって、数多くのクライアントや視聴者の皆様に選ばれるテレビ局へと、これまで2007年以降、成長してまいりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

タイムテーブル

BS11では曜日・時間帯ごとに視聴者ニーズに応える編成を実施
そのため、他民放BS局と比較しても**幅広い年齢層の視聴者**が存在する



こちらは今回、今年の10月クールのタイムテーブルです。当社はネットワークに属していない独立放送局で、独自で自由な編成が可能になっているのが特徴でございます。

ご覧いただくと平日の日中帯、昼間、主にF3、F4、主に中高年より上の女性層、主婦層をメインターゲットとして、平日の昼間にはドラマゾーンを編成しております。土日の日中帯、昼間はM3、M4、中高年以上の男性を主に想定して、競馬の生中継を配置しております。これは非常に評判でございます。

ゴールデン帯、プライム帯といわれる夜の時間帯には、自社制作の報道番組、あるいは紀行番組を編成しておりますし、深夜、日付をまたぐ前後から夜遅い時間帯までは、多数のアニメコンテンツを放送しております。それぞれの時間帯、あるいは視聴者層に合った番組編成を行っておりますので、現在若い方からご高齢の方まで、幅広い層の視聴者の皆様に当社の番組をご視聴いただき、楽しんでいただいていると思っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

理論社・国土社との取組

グループ会社となっている（株）理論社・（株）国土社と協業し、映像コンテンツを制作、放送や配信を積極的に実施。

株式会社理論社

1947年創業 書籍・雑誌等の編集、制作、出版及び販売



第70回青少年読書感想文全国コンクール
中学校の部 課題図書

株式会社国土社

1937年創業 主に児童図書・教育図書の刊行



第70回青少年読書感想文全国コンクール
小学校高学年の部 課題図書

協業制作コンテンツ例



さらに会社の特徴でいいますと、2018年には、児童書を手がけている株式会社理論社・国土社の株式を100%取得して、連結子会社化いたしました。

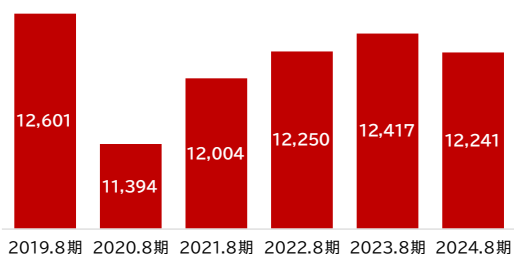
今はその両社のIP、いろんな権利を生かした映像コンテンツを制作して、放送、あるいはネット配信を行うなど、両社との協業を積極的に企画したり、推進している状況でございます。

サポート

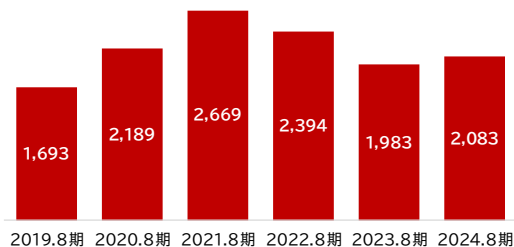
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



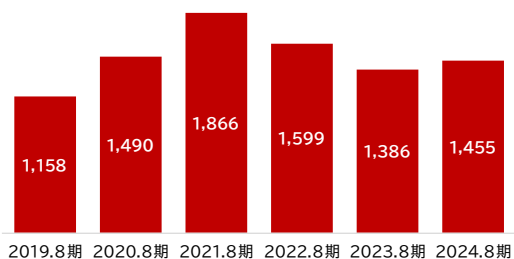
売上高(百万円)



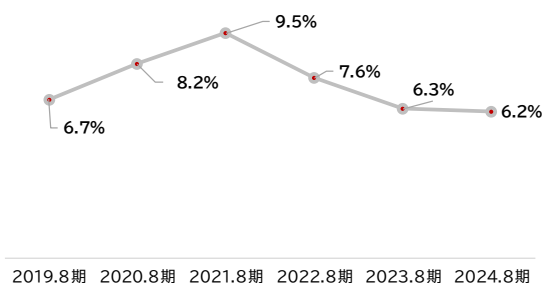
営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



ROE(%)



ここで、当社の業績の推移についてご説明いたします。売上はコロナウイルス感染拡大による影響を受けた2020年8月期に、前年比で大きな減収となりましたけれども、以後回復傾向にあります。広告市況が停滞している中で、当社は既存の放送事業を引き続き収益の柱としつつ、一方でネット配信のほか、さまざまなイベント等をはじめとした放送外事業、いわゆる放送以外の事業を積極的に推進して、業績拡大に向けて事業活動を行っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

人的投資を「人材の多様性による独自性の創出」を目的とした成長投資として戦略的に位置付け

人財戦略を支える基本方針
「社内人材の育成と能力開発」「外部専門人材の活用」「女性活躍推進」

具体的な施策

① ダイバーシティの確保

中途採用者：80%以上

女性社員割合：32.6%

女性管理職割合：22.4%



「コンテンツの多様性を支える
「人材の多様性を重視

② 人材育成

＜重点方針＞

人材の力を高め、コンテンツ中心の
ビジネスを追求し続ける集団への進化

「Go!Forward」戦略の3本柱

社員がチャレンジできる社内風土の強化

リーダー層のマネジメント力の強化

会社の将来を担う若手社員の成長加速

③ 社内環境整備

社員一人ひとりが持つ力を
引き出す労働環境

フレックスタイム制度

時短勤務制度

在宅勤務制度

最後に、当社の人的資本に関する取り組みについてご紹介いたします。当社では人的投資を人材の多様性による独自性の創出を目的に、成長投資として重要な政策課題だと位置づけております。

また当社の基本方針としては、社内人材の育成と能力開発、外部専門人材の活用、女性の活躍推進を掲げております。

具体的な施策としては、積極的な中途採用や経験者採用を続けておりますし、女性社員の割合を重視したダイバーシティの確保、あるいはリーダー層のマネジメントや若手社員の成長強化を掲げた人材育成を行っております。このほか、フレックスタイムの充実であったり、在宅勤務制度の拡充といった多様な働き方を進めることで、社員のパフォーマンスを向上させる取組を行っております。こういった社内環境の整備を引き続き推進してまいりたいと思っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2024年8月期 総括(連結)

売上高 **12,241百万円**(前期比 1.4%減↓)営業利益 **2,083百万円**(前期比 5.0%増↑)

2024年8月期 総括(個別)

売上高 **11,357百万円**(前期比 2.3%減↓)営業利益 **2,057百万円**(前期比 4.4%増↑)

2024年8月期の業績について、ご説明したいと思います。連結、個別それぞれの詳細につきましては、次のスライドより詳しくご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

損益計算書の概要（連結）

売上高は**12,241**百万円（前期比1.4%減）、営業利益は**2,083**百万円（前期比5.0%増）、
親会社株主に帰属する当期純利益は**1,455**百万円（前期比5.0%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2023年8月期	2024年8月期						主な変動要因（前期比）
		実績	前期比	増減額	計画	計画比	増減額	
売上高	12,417 (100.0%)	12,241 (100.0%)	△1.4%	△176	12,600 (100.0%)	△2.8%	△359	(売上高) ・放送事業収入… △319百万円 ・その他収入…+48百万円 ・その他収入(子会社)… +95百万円
売上総利益	5,931 (47.8%)	5,772 (47.2%)	△2.7%	△159	—	—	—	
営業利益	1,983 (16.0%)	2,083 (17.0%)	5.0%	100	1,910 (14.5%)	9.1%	173	
経常利益	2,015 (16.2%)	2,097 (17.1%)	4.1%	82	1,910 (14.5%)	9.8%	187	・BS11… +87百万円 ・子会社… +13百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,386 (11.2%)	1,455 (11.9%)	5.0%	69	1,318 (10.0%)	10.4%	137	

連結の売上高は122億4,100万円となりました。放送収入は減収となった一方で、先ほど申しました放送事業以外の収入は前年同期比4,800万円増、連結子会社である出版2社の売上が前年同期比9,500万円増と、好調に推移いたしました。

営業利益に関しましては昨年の4月に実施いたしましたスタジオ設備の改修に伴う償却負担の増加やアニメ作品の出資償却の増加はありつつも、経費の節減に努めた結果、20億8,300万円で増益に転じました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、14億5,500万円となっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書の概要（連結）

BS11日本BS放送

	2023年8月期末	2024年8月期	
		期末	前年増減額
流動資産	16,669 (67.3%)	17,041 (65.8%)	372
固定資産	8,086 (32.7%)	8,852 (34.2%)	766
資産合計	24,756 (100.0%)	25,894 (100.0%)	1,138
流動負債	2,018 (8.2%)	2,166 (8.4%)	148
固定負債	131 (0.6%)	128 (0.5%)	△3
負債合計	2,150 (8.8%)	2,295 (8.9%)	△145
純資産合計	22,606 (91.2%)	23,598 (91.1%)	992
負債・純資産合計	24,756 (100.0%)	25,894 (100.0%)	1,138

	2023年8月期	2024年8月期
営業キャッシュ・フロー	1,336	2,468
税金等調整前当期純利益	2,015	2,097
減価償却費	509	606
売上債権の増減額(▲は増加)	△250	94
未払金の増減額(▲は減少)	45	△153
未払い消費税等の増減額(▲は減少)	△89	207
法人税等の支払額	△734	△550
投資キャッシュ・フロー	△1,435	△9,351
定期預金の預入による支出	-	△8,000
有形固定資産の取得による支出	△1,403	△32
投資有価証券の取得による支出	-	△1,309
財務キャッシュ・フロー	△757	△564
短期借入金の返済による支出	△520	△100
配当金の支払額	△355	△462
現金及び現金同等物の増減額	△856	△7,447
現金及び現金同等物の期首残高	14,456	13,599
現金及び現金同等物の期末残高	13,599	6,152

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

16

連結の貸借対照表はご覧のとおりでございます。資産合計は258億9,400万円、純資産合計は利益剰余金の計上によりまして、235億9,800万円となっております。

キャッシュ・フローについてもご説明いたします。営業キャッシュ・フローは、24億6,800万円のキャッシュインとなりました。主に当期純利益の計上によるものでございます。

2番目、投資キャッシュ・フローは93億5,100万円のキャッシュアウトとなりました。基本的には普通預金から定期預金への預替えによる減少分の80億円が大半を占めている次第です。日銀の金融政策の転換によって金利が上昇する世界になってきましたので、しっかりと金利の付く定期預金のほうに預け替えたことによって、投資キャッシュ・フロー上は減少となった次第でございます。投資有価証券の取得による影響が13億900万円ございました。

最後の三つ目、財務キャッシュ・フローは5億6,400万円のキャッシュアウトとなりました。これも後で出てきますけれども、株主還元策を強化しようという方針でありますので、その一環として2年続けて増配を行いました。その2年目の増配を行ったことによりまして、配当金の支払額増加が主な要因でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

売上高は**11,357**百万円（前期比2.3%減）、営業利益は**2,057**百万円（前期比4.4%増）、
 当期純利益は**1,432**百万円（前期比5.2%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2023年8月期	2024年8月期						
		実績	前期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(前期比)
売上高	11,625 (100.0%)	11,357 (100.0%)	△2.3%	△267	11,900 (100.0%)	△4.6%	△543	(売上高) ・タイム収入…△26百万円 ・スポット収入…△293百万円 ・その他収入…+51百万円
売上総利益	5,558 (47.8%)	5,354 (47.1%)	△3.7%	△204	—	—	—	(段階利益) ・売上高は前期比減収
営業利益	1,970 (17.0%)	2,057 (18.1%)	4.4%	87	1,900 (16.0%)	8.3%	157	<<利益増加の具体的要因> 売上原価: ・編成戦略に基づくアジアドラマ 放送枠の変更による番組 購入費の減少 ・前年実施のスタジオ設備更新 に伴う放送関連費用の反動減
経常利益	1,974 (17.0%)	2,073 (18.3%)	5.0%	99	1,900 (16.0%)	9.1%	173	
当期純利益	1,362 (11.7%)	1,432 (12.6%)	5.2%	70	1,311 (11.0%)	9.3%	121	販売管理費: ・出稿媒体の見直し等による 広告宣伝費の減少

続きまして個別業績、BS11単体の成績についてご説明いたします。売上高は113億5,700万円で、前年同期比2.3%の減収となりました。放送事業以外の収入は好調だったんですけども、放送収入のうち主にスポット収入が、全体的に低調な市況の影響を受けて苦戦いたしました。

営業利益に関しましては、アニメコンテンツの強化と充実を図りながら、番組の関連費用、放送関連費用を効率的に運用しました。その結果、当社創業以来、最も大きな設備投資となりました2023年4月のスタジオ設備更新に伴う、かなり大きな減価償却の負担増を吸収できました。それによりまして、営業利益は20億5,700万円で、増益に転じた次第でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



売上区分別実績（個別）

	2023年8月期	2024年8月期				
		実績	増減額	前期比	計画	計画比
売上高	11,625 (100.0%)	11,357 (100.0%)	△267	△2.3%	11,900 (100.0%)	△4.6%
タイム収入	8,288 (71.3%)	8,262 (72.7%)	△25	△0.3%	8,537 (71.7%)	△3.2%
スポット収入	2,563 (22.0%)	2,269 (20.0%)	△293	△11.4%	2,433 (20.5%)	△6.7%
その他	773 (6.7%)	825 (7.3%)	51	6.7%	929 (7.8%)	△11.1%

前期比との主な増減要因

- タイム収入(放送事業収入)
通販枠の強化・拡充及び大型スポーツコンテンツのセールス強化を行うも、前期に放送した持込番組の反動減等により、前期比△0.3%微減で着地
- スポット収入(放送事業収入)
前期に引き続き通販スポット市況低迷の影響を受け、前期比△11.4%減少
- その他(放送外事業収入)
イベント事業や配信事業の収入拡大、アニメ制作委員会からの出資配当の増加等により、前期比7%増加

単体の売上高につきまして、セグメント別にご説明いたします。タイムの収入は通販枠の強化・拡充、あるいは大型スポーツコンテンツのセールス強化を行いました。一方、持込番組の減少によって、前年同期比だと0.3%減の82億6,200万円を着地をいたしております。

一方でタイムと並ぶ放送事業収入の大きな柱でありますスポット収入は、引き続き通販スポット市況の低迷の影響を受けて、前年同期比で11.4%減と大きく落ち込んで、金額的には22億6,900万円を着地いたしました。

その他収入に関しましては、アニメ作品への積極投資による配当収入や番組関連イベントの事業収入が好調で、前年同期比で6.7%増の8億2,500万円となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

主要費用項目実績（個別）

	2023年8月期	2024年8月期		
		実績	前期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	3,940 (33.9%)	3,855 (33.9%)	△2.2%	
番組購入費	432 (3.7%)	361 (3.2%)	△16.4%	編成戦略に基づくアジアドラマの放送枠変更による減少
番組制作費	3,507 (30.2%)	3,493 (30.7%)	△0.4%	
放送関連費用(原価)	624 (5.4%)	547 (4.8%)	△12.3%	
放送委託費	529 (4.6%)	497 (4.4%)	△5.9%	衛星利用料の見直しによる費用減
技術費	95 (0.8%)	49 (0.4%)	△47.4%	前年のスタジオ設備更新に伴う費用の反動減
広告関連費用(販管費)	1,015 (8.7%)	706 (6.2%)	△30.5%	

続きまして、こちらの費用についてご説明いたします。まず、原価部門です。番組関連費用は38億5,500万円で、前年同期比2.2%減となりました。放送局なので、番組関連費用がきわめて費用の中で大きな部分を占めるんですけども、番組購入費と番組制作費に分けてみますと、番組の購入費のほうが前年同期比16.4%減の3億6,100万円となっており、これが費用を抑えられた主要因でございます。

一方、番組制作費は、アニメコンテンツ製作委員会へ積極的な参加をいたしました。費用は膨らむことにはなるんですけども、一方で制作そのものは効率的に使用、計画したことによって、番組制作費全体としては34億9,300万円、前年同期比で0.4%減と微減、ほぼ横ばいというかたちに抑制することができました。

放送関連費用は5億4,700万円、前年同期比で12.3%減となりました。昨年4月に実施しましたスタジオ設備の更新に伴う、費用の反動減が影響いたしました。これは分かりにくいかもしれませんが、スタジオ設備を更新する間、当社のスタジオが使えないので、外部スタジオをかなり使

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

っておりました。更新作業が無事に終了し、当社スタジオが稼働し始めたので、外部スタジオを使う必要がなくなった、そういう意味での費用の反動減が貢献したかたちでございます。

販管費に関しましてはコスト効率、より効率的な広告宣伝、そういう施策を目指したことによって、広告関連費用は7億600万円、前年同期比だと3割減となっております。

個別の貸借対照表はご覧のとおりでございます。

貸借対照表（個別）

BS11日本BS放送

(単位:百万円、下段は構成比)

	2023年8月期	2024年8月期		
		実績	前年増減額	主要な増減要因
流動資産	16,103 (66.6%)	16,553 (65.1%)	450	・現金及び現金同等物の増加 +607百万円
固定資産	8,091 (33.4%)	8,858 (34.9%)	767	・投資有価証券の増加 +1,309百万円
資産合計	24,195 (100.0%)	25,412 (100.0%)	1,217	
流動負債	1,567 (6.5%)	1,815 (7.1%)	248	・未払消費税の増加 +198百万円
固定負債	127 (0.5%)	125 (0.5%)	△2	
負債合計	1,694 (7.0%)	1,941 (7.6%)	246	
純資産合計	22,501 (93.0%)	23,471 (92.4%)	970	・利益剰余金の増加 +969百万円
負債・純資産合計	24,195 (100.0%)	25,412 (100.0%)	1,217	

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

20

続きまして番組の具体的な施策についてご説明いたします。まず、自社制作番組です。当社では報道、紀行、教養、スポーツ、エンタメといった、幅広いジャンルの自社制作番組をレギュラー放送しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

➤ 自社制作番組 視聴者とクライアントのニーズに合った様々な自社制作番組をお届け

<p>紀行・教養</p> 	<p>エンタメ</p> 
<p>スポーツ</p> 	<p>報道</p> 

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

21

まず、歴史教養番組、偉人・敗北からの教訓は、男性の、50 から 64 歳までの M3 層を中心に多くの視聴者にご視聴いただいております。当社の人気コンテンツの例の一つでございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



➤大型スポーツコンテンツの獲得



- ➡話題性の高いコンテンツとして、タイムセールス・スポットセールスを牽引
- ➡スポーツコンテンツとの親和性が高いM3層を中心に新規視聴者の獲得促進

➤その他新規特別番組等の制作



- ・新規視聴者の獲得や更なる視聴率の獲得に向けた起爆剤的役割
- ・新規広告主の獲得や休眠広告主の出稿獲得といったセールス強化の役割
- ・テレビ放送後のアーカイブ配信の実施等、配信コンテンツの拡充へ繋げる

またレギュラー番組の自社制作に加えて、特別番組の自社制作も多数行いました。2~3例を挙げますと、WBSC アンダー18のベースボールワールドカップ、ゴルフのアース・モンダミンカップ。これは話題性の高い大型スポーツコンテンツとして、タイムやスポットのセールスをけん引するかたちになりました。

このほか、新規視聴者の獲得や当社の看板番組として育てていきたい、鶴瓶のええ歌やなァという番組がございます。これはお亡くなりになった八代亜紀さんの人気歌番組の後継番組として、この秋から始めている番組となります。また、ギター町御茶ノ水らしく、御茶ノ水 GUITAR SPIRITS! といった、さまざまなジャンルの特番も多数制作放送しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



▶ **コラボレーション施策**

- ▶ 質の高い内容の番組を通常より安価で制作可能に
- ▶ 共同でのイベント展開、特別番組の共同制作など新施策展開へ



制作著作 KBS京都/BS11



© KBS京都 / TOKYO MX / BS11



© KBS京都 / BS11



© KBS京都 / BS11



© びわ湖放送 / BS11



© 岐阜放送 / BS11



© KBS京都 / BS11 / 元気な事務所



© KBS京都 / BS11 / 元気な事務所

動画配信サービスを展開する(株)U-NEXTと協業



- ▶ ドラマ・スポーツジャンルを中心としたコンテンツの拡充
- ▶ 効率的な費用投下によるコンテンツの制作

当社ではネットワークに属さない独立放送局としての強みを生かす観点から、番組の共同制作を他局と一緒に、コラボレーション施策として積極的に展開しております。

株式会社京都放送とは京都浪漫 悠久の物語を共同制作し、そのほかに祇園祭、夏の五山の送り火といった、京都ならではの景色を特別番組として一緒に制作し、全国にお届けしております。

去年の10月から動画配信サービスを展開するU-NEXTと協業しまして、世界のスポーツコンテンツから一押し映像をお届けするスポーツ番組、ワールドスポーツ CLIP! Supported by U-NEXTの放送を行いました。

こうした他局、他社の皆様とのコラボレーション施策は、制作コストの低減という観点もありますけれども、違う立場で一緒にやることで、番組のクオリティ向上の面でも大きな効果があると判断し、積極的に推進しております。今後も系列局に縛られない、独立系の当社だからこそできる施策として、さらに推進してまいりたいと思っております。

これまでの説明はコンテンツ制作についてでしたが、BS11では人気コンテンツを購入して調達するほうも積極的に実施しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



＜コンテンツの調達＞



当社のメイン視聴者層であるM3/F3層、M4/F4層の視聴傾向が強いドラマや映画コンテンツ、幅広い層に人気のあるディスカバリーコンテンツやアニメ作品、スポーツコンテンツを編成

BSの主な視聴者層であるM3/F3層、M4/F4層（50歳以上の男女の方々）と親和性の高い国内ドラマ、中国時代劇、ヨーロッパミステリー、韓国ドラマといったドラマコンテンツの調達はもちろん、映画、キッズアニメ、スポーツなど、幅広い層に人気のあるコンテンツも積極的に編成し、視聴者ニーズにお応えしております。

続きまして、当社のアニメ関連コンテンツへの取り組みをご紹介します。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



➤アニメ関連施策(アニメ関連番組の放送)

《製作委員会への出資作品(2023年10月~2024年8月)》 計 **35** 作品に参加



+



- ➔開局以来、アニメ作品の放送を継続し、「アニメのBS11」として認知が拡大
- ➔アニソンやアニメ関連のエンタメをテーマにした番組を放送することで、アニメファンの囲い込みを図る

開局以来、アニメ作品の放送を積極的に実施しております。現在は毎クールおよそ 40 タイトルのアニメ関連番組を放送しており、地上波ネットワーク、BS 無料放送でもトップクラスの数でございます。当期に放送したアニメ作品のうち、35 作品のタイトルに出資、参加をしております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com





➤アニメ関連施策(イベントへの出展等)

全国各地のアニメイベントへ出展

<p>・マチ★アソビvol.27 開催地: 徳島県徳島市</p> 	<p>・北九州ポップカルチャーフェス 開催地: 福岡県北九州市</p> 	<p>・AnimeJapan2024 開催地: 東京都江東区</p> 	<p>・とちてれ アニメフェスタ! 開催地: 栃木県宇都宮市</p> 
--	---	---	--

アニメイベントの主催

 <p>© Anime Summer Live 2023</p>	<p>Anime Summer Live2023 -AXEL- 開催地: さいたまスーパーアリーナ</p> <p>2021年より3年連続で主催 3日間のイベントで延べ65,000人を動員 年末年始にライブの模様をOA</p>		<p>Anison Days Festival 2024 開催地: LINE CUBE SHIBUYA</p> <p>2018年に初開催 会場内で番組関連グッズを販売 2024年10月に番組内でOA</p>
---	---	--	--

➔全国一歩というBSの強みを活かし、アニメファンの認知を拡大
➔激化するアニメ製作委員会への参画競争に対応すべく、各委員会へ当社が参画した場合の付加価値をRする機会として活用

また番組の放送に加えて、アニメイベントへの出展といった放送外の取り組みも行っております。徳島県で行われたアニメイベント、マチ★アソビや、日本中のアニメが一堂に集うAnimeJapan2024に出展いたしました。

さらに当社オリジナル番組、Anison Days のライブイベントを今年の7月に開催し、約1,500名のファンの皆様にご来場いただきました。このイベントの模様を番組内でオンエアしております。

このように、アニメ関連施策としてイベントなど幅広く実施した効果もあり、アニメのBS11として視聴者の皆様の認知度も上昇しているのではないかと考えております。

続きまして、配信、放送周辺事業です。放送事業以外のところについて、ご紹介いたします。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



➤コンテンツのマルチ展開

BS11
放送コンテンツ



○関連グッズの企画・販売



ワールドダイスター 朗読劇アクリルスタンド 麗 こころる静香



じゅういっちゃん 今治タオル ハンカチ

BS11 SHOP



太田和彦さん描き下ろし書籍掲載イラスト使用 日本橋高級産産 団扇(赤羽屋)

この他、番組関連グッズやBS11オリジナルグッズを多数販売中

○自社PFでの配信



○外部PFでの配信



○記事サイトの活用



自社配信PF「BS11+」で配信するコンテンツを記事化して、コンテンツの魅力を発信するサイト「BS11+トピックス」を開設。

➔12万人以上が記事サイトへ来訪、BS11+へのサイト訪問へ誘導

- ➔引き続き放送事業を収益の軸としながらデジタル分野の収益を拡大
- ➔若年層を中心とした新規視聴者とのタッチポイントを増やす
- ➔企画段階で多面的な展開を視野に入れたコンテンツ制作力の強化

当社では放送したコンテンツや番組について、自社あるいは外部のプラットフォーム、記事サイト、通販サイトなど、マルチに展開しております。既存の放送事業収入を収益の柱としながらも、配信や通販といったデジタル分野での新たな収益の確保に取り組んでおります。

またこうした取り組みは若年層を中心とした新しい視聴者の獲得、番組ファン、そのすそ野を拡大していくための施策として、効果を発揮しているのではないかと考えております。

では、その当社の配信、イベントに関する施策について、詳しくご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



▶ 配信の取り組み

BS11
放送コンテンツ



○自社PFでの配信

BS11+ プラス

・月額見放題プランでのアーカイブ配信や、配信限定コンテンツの展開

○外部PFでの配信

YouTube 登録者数：約31万人 ※BS局ナンバーワン

TVer U-NEXT
FOD VideoMarket ビデオマーケット

・主な配信コンテンツ



配信では、無料の見逃し配信や課金による見放題配信を実施しております、当社独自のプラットフォーム、BS11+というのがあります。そのほかにも BS 無料局ではナンバー1の31万人の登録者数を誇っております、BS11 公式 YouTube チャンネル。このほか民放全体で展開しております配信ポータルサイト TVer など、さまざまなプラットフォームを活用して、コンテンツを展開している次第でございます。

また近年は配信でしか見ることのできないオリジナルコンテンツの制作にも、注力しております。社内の企画公募で、当時入社2年目の若手社員が考案した、和歌山のアドベンチャーワールドを取材したアドベンチャーワールドのパンダたち等、幅広いジャンルのコンテンツを制作、配信しております。

このほか、エフエム東京のデジタル音声サービス、AuDee では当社の報道ライブ インサイド OUT の音声配信を開始しております。

コンテンツごとに視聴者ニーズに沿った配信展開を、これからも強化・推進してまいりたいと思っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

イベントの推進



- ・各番組の視聴者と出演者との交流をはじめとした直接的なタッチポイントの創出
- ・他社・他局と共同でイベントを開催することで、効率的なコスト投下によるイベント開催を実現
- ・イベント開催を視野に入れた番組の企画、コンテンツの多面的な展開による収益拡大

ビックカメラグループとのシナジー

・売上施策の1つとして、実店舗で販売中の商品をオリジナルショッピング番組内で販売



・番組やイベントの宣伝にビックカメラ店舗を活用



© Nippon BS Broadcasting Corporation.

当社のイベント施策についてご説明いたします。BS11 では紀行番組や報道番組、アニメ番組など、幅広いジャンルの番組関連イベントを展開しております。こうしたイベントの施策は局認知、番組認知を拡大させ、各企業とのタイアップ案件等、収益拡大策の取り組みとしても、機能している状況でございます。

例えば株式会社文化放送とのコラボレーション施策として実施しておりますラジオコンテンツ、ワールドダイスターRADIO わらじの関連イベントも実施しております。

こうした他社、他局とのイベント協業は、開催にかかるコストの効率化、効率的な展開につながっております。

ビックカメラとの協業施策についてもご説明いたします。当社ではオリジナル通販番組、BS11 テレビショッピング supported by ビックカメラを放送しております。

このほか、当社の番組やイベント告知を全国のビックカメラ店舗内、サイネージ等を採用して、番組広報、宣伝を行っております。グループ内のお互いの強みを生かした施策を実施して、今後もさらに協力関係を強化、継続してまいりたいと思っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



以上、24年8月期の業績についてご説明いたしました。

続きまして来年、2025年8月期の通期計画についてご説明いたします。

2025年8月期 通期計画（連結）

BS11日本BS放送

売上高は12,314百万円(前期比0.6%増)、営業利益は2,004百万円(前期比3.8%減)、
親会社株主に帰属する当期純利益は1,407百万円(前期比3.3%減)を計画

(単位:百万円、下段は売上比)

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,936 (100.0%)	12,241 (100.0%)	5,906 (100.0%)	△0.5%	12,314 (100.0%)	0.6%	73
営業利益	927 (15.6%)	2,083 (17.0%)	957 (16.2%)	3.2%	2,004 (16.3%)	△3.8%	△79
経常利益	930 (15.7%)	2,097 (17.1%)	970 (16.4%)	4.2%	2,032 (16.5%)	△3.1%	△65
親会社株主に帰属 する当期純利益	642 (10.8%)	1,455 (11.9%)	660 (11.2%)	2.8%	1,407 (11.4%)	△3.3%	△48

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

32

まず、連結の通期計画についてご説明いたします。売上高は123億1,400万円、前期比0.6%増。営業利益は20億400万円、前期比3.8%減。経常利益は20億3,200万円、前期比3.1%減。親会社株主に帰属する当期純利益は14億700万円、前期比3.3%減を予想しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

売上高は11,600百万円（前期比2.1%増）、営業利益は2,000百万円（前期比2.8%減）、
当期純利益は1,406百万円を計画（前期比1.8%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,547 (100.0%)	11,357 (100.0%)	5,646 (100.0%)	1.8%	11,600 (100.0%)	2.1%	243
タイム収入	4,009 (72.3%)	8,262 (72.7%)	4,165 (73.8%)	3.9%	8,518 (73.4%)	3.1%	256
スポット収入	1,164 (21.0%)	2,269 (20.0%)	1,048 (18.6%)	△10.0%	2,128 (18.3%)	△6.2%	△141
その他	373 (6.7%)	825 (7.3%)	432 (7.7%)	16.0%	953 (8.2%)	15.5%	128
営業利益	920 (16.6%)	2,057 (18.1%)	992 (17.6%)	7.8%	2,000 (17.2%)	△2.8%	△57
経常利益	924 (16.7%)	2,073 (18.3%)	1,006 (17.8%)	8.9%	2,029 (17.5%)	△2.1%	△44
当期純利益	638 (11.5%)	1,432 (12.6%)	697 (12.3%)	9.2%	1,406 (12.1%)	△1.8%	△26

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

33

続きまして、当社 BS11 単独の通期計画についてご説明いたします。売上高は 116 億円、前期比 2.1%増。営業利益は 20 億円ちょうど、前期比 2.8%減。経常利益は 20 億 2,900 万円、前期比 2.1%減。当期純利益は 14 億 600 万円、前期比 1.8%減と、増収減益を予想しております。

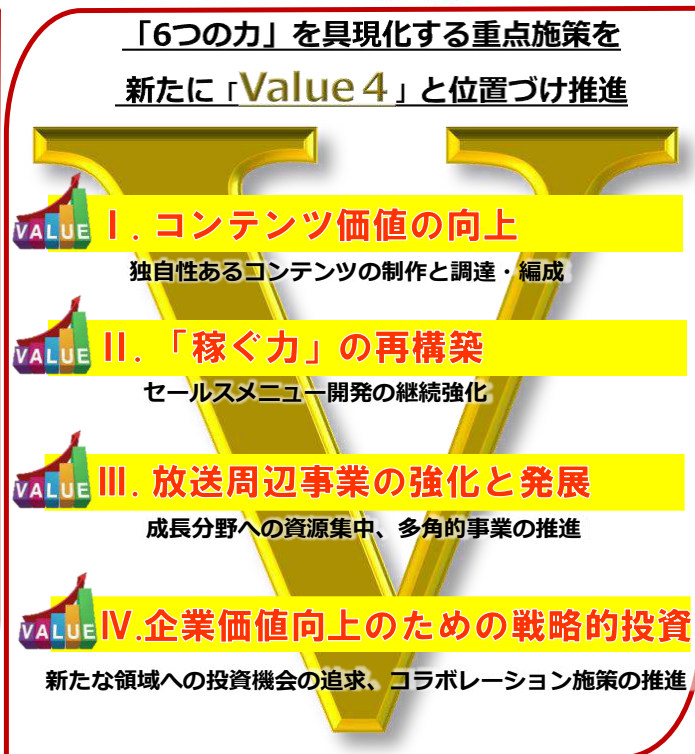
比較のために見ておきまして、積極的な人的な面での投資等の強化を考えておりますので、とりわけ利益に関してはかために予想している次第でございます。

今期はコンテンツ価値の引上げを目指して、アニメ、配信といった成長分野への投資をもっと積極的に行いたいと思っております。そうしたかたちで、企業価値の最大化に当期も努めてまいりたいと思っております。

このほか、新規クライアントの開拓、既存クライアントとの取引の促進など、営業面での強化策も引き続き行っていくほか、番組関連イベントの開催、あるいは自社制作番組の他社への販売などといった放送外の事業についても、一段と積極的に推進してまいりたいと思っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



当社の基本戦略についてご説明いたします。当社は 2025 年 8 月期の基本戦略、重点施策として、六つの力と Value4 を掲げ、さまざまな事業を行ってまいります。

六つの力とはご覧のとおり、実行力、改革推進力、戦略構築力、変化対応力、マーケティング力、企画力の六つを指しております。社員の知恵と知識を結集し、戦略を強力に実行していくことを目指します。

Value4 は右側の図をご覧ください。ただ今申し上げました六つの力を具現化する、重点施策であります。柱だけ申し上げますと、コンテンツ価値の向上、稼ぐ力の再構築、放送周辺事業の強化と発展、企業価値向上のための戦略的投資。この四つを掲げております。マルチ展開可能なコンテンツの創造力の強化、さらにはアニメ、配信等の成長分野への投資を積極的に実行してまいりたいと考えております。

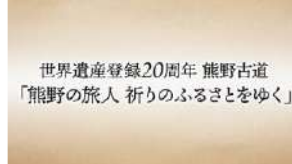
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

I. コンテンツ価値の向上

II. 稼ぐ力の再構築

>10月改編



III. 放送周辺事業の強化と発展

IV. 企業価値向上のための戦略的投資

>イベント

>アニメ

>ビックカメラグループとのシナジー



今期の主なトピックスの一覧です。当社のフラッグシップコンテンツとして、新番組・鶴瓶のええ歌やなあを10月より開始いたしました。笑福亭鶴瓶さんと、フリーのアナウンサーの八木亜希子さんをMCに迎えて、ゲストの思い出の詰まった名曲や思い出話を鶴瓶さんが引き出す、トークと歌、両方まじえて皆さんに楽しんでいただけるような大人の歌謡番組を目指しております。

当社配信サービス、BS11+、TVerでも配信して、トークシーンにつきましてはYouTubeでもご覧いただけるようにしております。ぜひご覧いただければと思います。

さまざまなプラットフォームを通じて、当社のオリジナルコンテンツを見ていただく機会を増やし、局認知の向上、BS11ファンの拡大に努めてまいりたいと思っております。

サポート

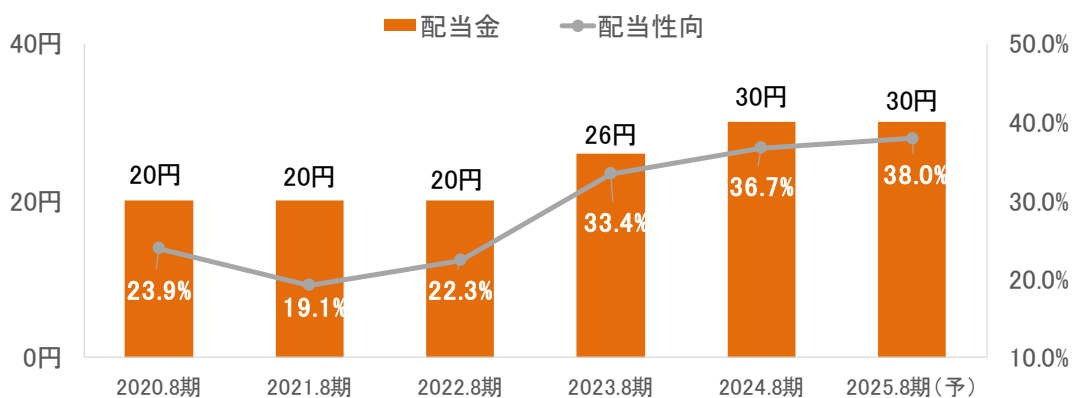
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2025年8月期は、期末配当金 30円を計画

配当方針について

- ・ 企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。
- ・ 年1回の期末配当を行うことを基本とします。



© Nippon BS Broadcasting Corporation.

38

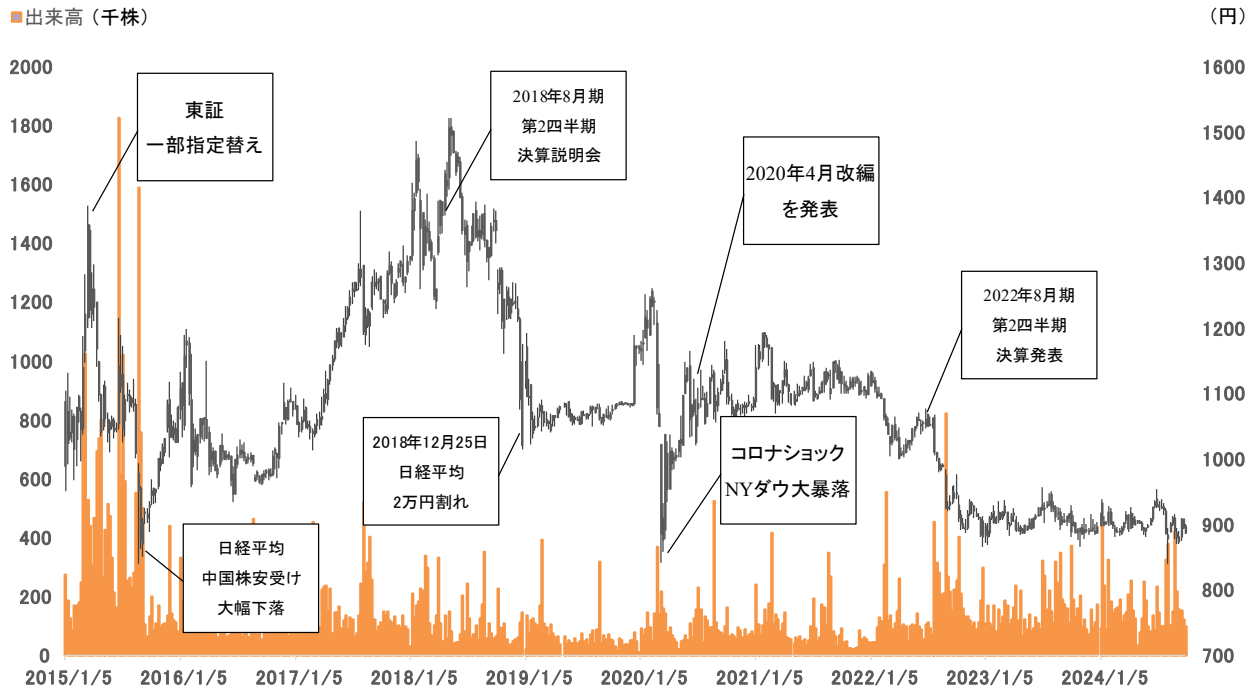
配当の状況についてご説明いたします。25年8月期は、期末の予想配当を30円とさせていただく計画でございます。企業価値の向上、持続的な発展に向け成長を確保する。その一方で、ステークホルダーの皆様のご期待に応えられるよう、経営資源を適切に配分して、企業価値を拡大してまいります。

今後は株主の皆様当社事業をより一層、ご理解いただくための取り組みを検討してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





© Nippon BS Broadcasting Corporation.

39

最後に、株価はご覧のとおりでございます。当社では引き続き、業績を引き上げることで企業価値の向上に努め、株価を上げ、株主の皆様を含め、ステークホルダーの皆様の期待に応えたいと思っております。25年8月期も引き続き、いろいろな施策にご注目いただけますと幸いです。

以上をもちまして、ご説明は終了いたします。ご清聴ありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

